

自分の作品を守るためにはどうすればいいのか、
アーティスト自身が考えて行動するときです。

メディア・アーティスト協会

[Media Artists Association (MAA)]

会員募集

趣旨

インターネットに代表されるデジタル・メディアは、新たな作品流通経路として無限の可能性を秘めていると言われています。しかし、一方で無許諾のコピーの氾濫などの問題も生じており、そのような中で我々アーティストは、デジタル・メディアを作品の制作・発表にどう活用していくか、答えが出せないままさまよっているというのが現状ではないでしょうか。

また、そもそも我々アーティストは、デジタル・メディアの活用に必要な知識である著作権やデジタル技術についてあまりに無知ではなかったでしょうか。例えば、どのような技術手段を活用すればインターネット上で安心して作品を提供出来るのかと質問されて答えられるアーティストは少ないでしょう。

現在、デジタル・メディアを作品流通の経路として確立すべく、民間では様々な技術開発が進められ、政府では著作権制度のあり方が議論されています。しかし、作品を提供する肝心の我々アーティストが何を望むのかを明確にしないままでは、アーティストが使えないデジタル・メディアとなってしまうのではないのでしょうか。

今や我々アーティストとしても、デジタル技術や著作権についての最新の知識を身につけた上で、我々自身の意見を表明することにより、アーティストが安心して利用できるデジタル・メディアの実現を目指すことが必要になっています。

そこで、本年2月1日をもって、「デジタル・メディアに関する、アーティスト自身によるアーティストのための団体」であるメディア・アーティスト協会（MAA）を設立しました。多くのアーティストの皆様の加入を心からお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

設立発起人：飯野 賢治（ゲーム作家）

河口 洋一郎（CGアーティスト）

坂本 龍一（音楽家）

佐野 元春（音楽家）

富田 勲（音楽家）

松武 秀樹（音楽家）

（50音順）

活動予定

- (1) 設立一年目である今年は、まず、我々アーティストが、デジタル技術や著作権制度などの、デジタルメディアに関連する最低限の基礎的な知識を取得していくとともに、常にそれらに関する最新の時事的な情報も共有していけるような体制を確立することを目的とします。そのため、定期的に開催される例会においては、代表的なアーティストが、デジタル・メディアの最前線で活躍されている方などと、基礎的な知識と時事的な問題の双方について語り合うという形のシンポジウムを行い、互いに問題状況を共有していくという方式をとる予定です。また、例会以外の場でも、常時、会員間あるいは関係者も含めて、インターネット上の会議室などで活発に議論したり、あるいはお互いの情報を交換しあうなどして、常に基礎的な知識や時事的問題についての情報を共有できる環境を確立していく予定です。そして、そのようなシンポジウムや、ネット上での議論をふまえ、今年後半には、これからのメディアアートの発展に向けて、アーティストがどのように取り組んでいくべきかという点などをまとめ、意見書のような形で発表することを予定しています。
- (2) 来年以降は、1年目における議論の成果を踏まえ、アーティストが実際にデジタル・メディア上で活動していくための具体的な基盤作りを行っていくことを目的とします。そのために国内外の関係機関、団体などと制度作りに向けての具体的な議論を行ったり、違法コピーの心配なしに作品を発表・提供できる理想的なシステムの構築に向けて、関係者と協力の上、デジタル・コンテンツ配信システムの実用化実験に取り組んでいくなど、様々な現実レベルでの活動を行うことを予定しています。

MAAの基本方針

- (1) MAAは決してデジタル技術や著作権制度などに詳しい人々の集まりではありません。むしろ、そういった専門的なことは分からないというアーティストが、それを率直に認めた上で、問題の深刻さを認識し、少なくとも基礎的な最低限の知識だけは勉強していこうという組織です。従って、議論も初歩的レベルから始めていく予定です。
- (2) アーティストだけで集まって議論することになると、プロダクションなどの関連企業・団体と対立することにならないかと懸念されるアーティストの方もいらっしゃると思います。しかし、MAAには様々な関連企業や、プロダクション団体を含む権利者団体の多くも賛助会員として加入する予定であり、また、実際の議論においても、アーティストがそうした関連企業・団体と対立していくことを目的とするのではなく、むしろアーティストと関係者全てが利益になる形での方向性を模索していくことを目的とします。
- (3) MAAは、漠然とデジタル・メディアに関連した将来を議論する場ではありません。今後アーティストは好むと好まざるとに関わらずデジタル・メディアに関わることとなり、アーティストに様々な具体的な影響を与えることとなるという問題意識のもと、そうした具体的な問題点をいかに解決していくかを関連企業・団体とも連携して検討していく場としていきますので、「デジタル・メディアの普及に伴う危機」といっても現実感が湧かないというアーティストの方にこそ是非参加して頂きたいと考えております。

会員の種別

- (1) 会員の種類には正会員と賛助会員があります。芸術作品を公表した実績のあるアーティスト（個人）の方は正会員となる資格があり、関連企業・団体などのアーティスト以外の者は賛助会員となります。
- (2) なお、会費は以下のとおりです。
 - ・正会員：入会金3千円、年会費6千円
 - ・個人賛助会員：入会金3千円、年会費6千円
 - ・営利法人賛助会員：入会金3千円、年会費30万円
 - ・非営利法人賛助会員：入会金3千円、年会費5万円

その他

- (1) 次回例会は3月15日（月）夜に東京で開催する予定であり、その場でMAA加入申込書も配布する予定ですので、是非万障お繰り合わせの上ご出席頂けますよう、よろしく申し上げます。（以下の問い合わせ先に御連絡頂ければ、次回例会の案内状をすぐにお届けします。）
- (2) その他MAAに関する問い合わせは、暫定事務局までお問い合わせ下さい。また、正式な事務局を近日中に立ち上げる予定ですので、その際には追って正式な問い合わせ先も御連絡致します。

[MAA暫定事務局]

電話：03 - 5434 - 9111（株）プロマックス内）

ファックス：03 - 5434 - 9100

電子メール：info@maa.promax.co.jp

（誠に申し訳ないのですが、暫定事務局の間は、MAAに関するお問い合わせは極力電子メールかファックスにてお願いします。）